

栃木県誕生150年 NHK宇都宮放送局開局80年 記念

第136回企画展



# 花と虫

～助けあい、せめぎあう植物と昆虫～

令和5年7月15日(土)～9月24日(日)

主催 栃木県立博物館 共催 NHK宇都宮放送局

- 開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日 毎週月曜日(祝日を除く)、7/18(火)、9/19(火)

	一般	高・大生	中学生以下
観覧料 (円)	260 (200)	120 (100)	無料

※( )内は20名以上の団体料金、またはM割料金

※M割(ミュージアム割引)について

栃木県博物館協会M割参加館の通常料金の入館券を持って、入館日から6か月以内に入館すると、割引を受けられます。他の割引との併用はできません。



Tochigi Prefectural Museum  
栃木県立博物館

〒320-0865 栃木県宇都宮市睦町2-2  
TEL:028-634-1311(代) FAX:028-634-1310



虫が花の蜜を吸いにやってくる。蜜を吸うとき、虫の体には花粉がつく。花粉は虫によって運ばれ、別の花のめしべにつく……。このように、植物と昆虫には、花は蜜を昆虫に与え、虫は花粉を運ぶ、といった助けあいの関係があります。イチゴやトマトなどの農作物の栽培には、そのような植物と昆虫との助けあいの仕組みが利用されています。

一方、植物と昆虫には、食う・食われるの関係もあります。葉や枝を食べる昆虫に対して、植物は身を守るために毛やトゲ、毒を持つなど、昆虫に対抗する仕組みを発達させています。

また、植物は昆虫の隠れ家や、オスとメスとの出会いの場としても利用されています。

この展示を通じて、植物と昆虫とのつながりを知り、生き物とのつきあい方や、生き物がくらす環境の保全について考えていただけたら幸いです。

## 第1章 植物と昆虫の助けあい

チョウやハナバチ、ハナアブなどの昆虫は、蜜を求めて花に集まります。

蜜は昆虫にとって大切な栄養源。花は蜜を提供する代わりに、集まった昆虫に花粉を運んでもらいます。

その結果、花は実をつけ、できた種から仲間をふやすことができます。

植物と昆虫は、互いになくてはならない関係を持っているのです。



トリカブトの蜜を食べて、花粉を運ぶナガマルハナバチ



タンポポの蜜を食べて、花粉を運ぶキアゲハ



ハルジオンの蜜や花粉を食べて、花粉を運ぶコアオハナムグリ



ミソソバの蜜を食べて、花粉を運ぶオオハナアブ



ウラジロカンコノキの蜜を食べて、花粉を運ぶウラジロカンコノキハナホソガ(→)

## 第2章 植物と昆虫のせめぎあい

植物は、昆虫に一方的に食べられるだけ、と思われがち。でも、植物も負けていません！ 食べられないよう、毛やトゲ、毒を持ち、身を守っています。しかし、中にはその植物の抵抗も乗り越え、毛ごと食べたり、毒を克服した昆虫もいます。そして、時には植物が昆虫を食べることも。

植物と昆虫は、互いにせめぎあいながら暮らしているのです。



毒のあるバイケイソウの葉を食べる、ツチハンミョウの仲間



植物の逆襲!? モウセンゴケが葉の粘液でバツタの幼虫をとらえて食べる

## 第3章 虫の居場所としての植物

植物は昆虫にとって大切な生活空間。すみか、オスとメスの出会いの場、巣の材料を得る場、狩り場など、利用の仕方はさまざまです。

展示を見れば、虫がなぜそこにいるのか、答えが見つかるかも!?



リョウブの葉の上で求愛するアオマツムシ(左:オス 右:メス)



ノリウツギの葉の上で、とらえたニホンミツバチの体液を吸うシオヤアブ

### ■関連行事

#### ●展示解説

7/29(土)、8/27(日) ※2日間とも14:00~15:00

#### ●観察会

8/6(日) 10:00~15:00 「高原の花と虫の観察会」

戦場ヶ原~小田代原 ※要予約

#### ●学芸員とっておき講座

8/20(日) 13:30~15:00 「助けあい、せめぎあう植物と昆虫」(講堂)

### ★同時開催展示

テーマ展「草・木・虫をめぐる栃木の民俗」

7/15(土)~9/24(日)

### ★同時開催講演会

「栃木の山と自然を語る~NHK山岳カメラマンとともに~」

8/11(金・祝) 10:30~12:00(講堂) ※要予約

### お問い合わせ/お申込み先

・栃木県立博物館 教育広報課

☎028-634-1312

・栃木県立博物館ウェブサイト

<http://www.muse.pref.tochigi.lg.jp/>



栃木県博

### アクセス

JR宇都宮駅(西口)または東武宇都宮駅から

・「桜通り経由鶴田駅」または「桜通り経由西川田駅」行で「中央公園博物館前」下車(徒歩8分)

・「長坂経由新鹿沼」行で「文星芸術大学附属中高」下車(徒歩8分)

※開催期間中は駐車場の混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用ください。

